

繁栄をもたらす 右岸用水いよいよ着工

水不足解消の日もすぐそこまで

千七百糸の農地へ毎秒七トンの水を供給して一挙に水不足を解消しようととするものであります。

あわせて将来大きく伸びようとする工業部門へは工業用水を、また、地域住民には上水道用水をと数多くの使命をもつ大きな計画です。

費用の概算

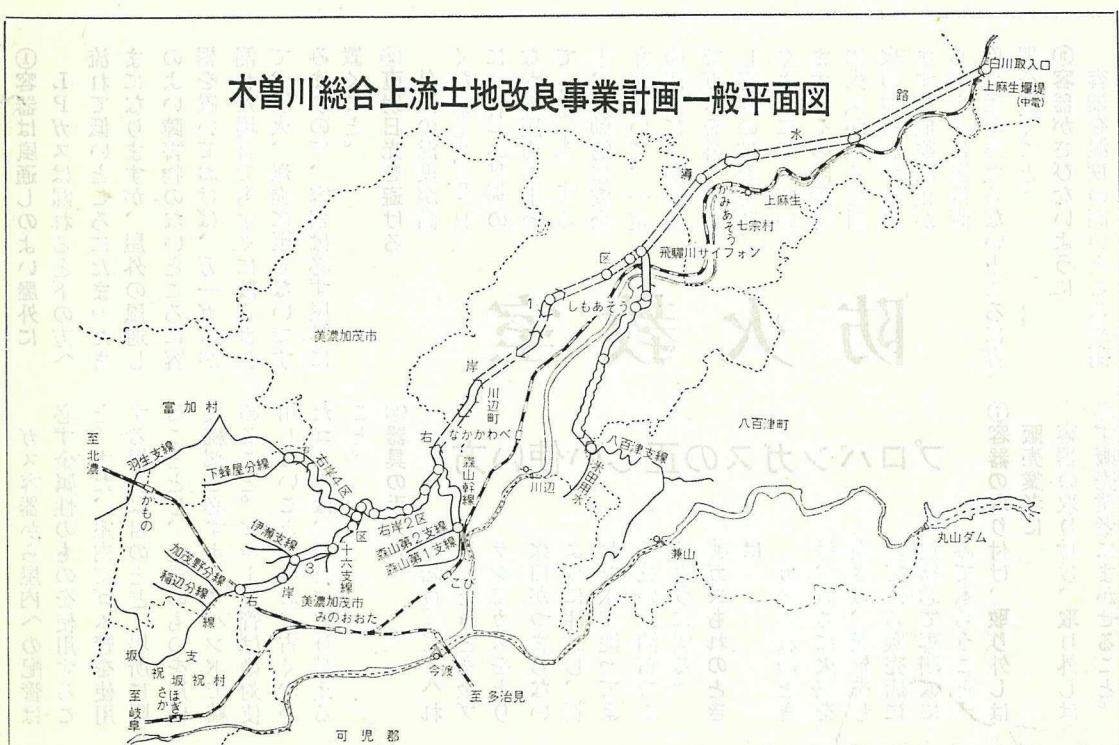
この木曽川右岸用水土地改良事業の工事費は、幹線については国が行なう国営事業で費用の配分は国が六〇割、県が二〇割、地元が残りの二〇割を地元負担として調達することになります。概要是次のとおりです。

七市町村へ毎秒七トンを岩屋ダムで貯水された水は白川町坂ノ東で取水され、七宗村を経て川辺町に運ばれ、美濃加茂市、坂祝村、富加村、関市へと、そして一部川辺で分岐された水は八百津町へと二市五か町村の農地約三千七百㌶を毎秒七トンの水で潤すことになります。

その間の幹線水路は、次のとおりです。

延長	農業専用	開水路	上農業水道用	工計
農業共用	トンネル	水路	用水水道水	用水水道水
計上	その他	タブ	計工	計工
七〇五五〇四〇四〇	トントン	延長	延長	延長
七〇五五〇四〇四〇	トントン	水路	水路	水路

近日中に「同意書」を



水を見ながら水を使うことのできなかつた木曽川沿岸の人たちの願いを、国、県、関係市町村と、地域住民との間で計画が進められてきた木曾川右岸用水改良事業は、昭和四十三年度に着工、昭和四十七年度完成をめざして各地区で説明会を開き、みなさんにご理解とご協力ををお願いしております。

のです。それほど重要な大事業を完成させるのは、曾川右岸用水事業を“正しく理解”していただくことです。町でも木曾川右岸用水をとりいれた農業の総合基本計画と治水計

画の樹立にとりくんでいます。
川辺町の発展とみなさんの繁榮
のために格別のご協力をお願ひし
ます。なお、くわしいこと、不明
の点は役場産業課へおたずねくだ
さい。